

安全性データシート

改定日: 2023年8月22日

前作成日: 2023年8月11日

SDS番号: 293B-13a

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

ARC MX1 (B剤)

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 耐磨耗表面にA剤、C剤と使用。

使用上の制限: 情報なし

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: www.chesterton.com

Eメール (SDSに関する質問): ProductSDSs@chesterton.com

Eメール: customer.service@chesterton.com

供給元:

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHS/欧州規制1272/2008 [CLP]による分類

急性毒性、区分 4, H302

皮膚腐食、区分 1B, H31

重篤な目の損傷、区分 1, H318

皮膚の感作、区分 1, H317

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)、区分 3, H335

2.1.2. 追加情報

H(危険)ステートメントの全文: セクション2.2および16を参照。

2.2. ラベル項目

GHS/欧州規制1272/2008 [CLP]によるラベル付け

危険の絵表示:



信号語:

危険

危険有害性情報:	H302	飲み込むと有害。
	H314	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。
	H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
	H335	呼吸器への刺激のおそれ。
使用上の注意:	P261	蒸気の吸入を避けること。
	P264	使用後、手を充分洗浄してください。
	P270	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
	P271	屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
	P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
	P303/361/353	皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
	P304/340	吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
	P305/351/338	眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P301/330/331	飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
	P310	ただちに医師に連絡すること。
	P333/313	皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
	P363	汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
	P403/233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
	P405	施錠して保管すること。
P501	許可された廃棄物処理プラントで内容物/容器を処分してください。	
補足情報:	なし	

2.3. その他の危険性

安全・健康障害の詳細はA剤、B剤、C剤とも別紙に記載してあります。硬化物質は最終的に無害とされています。機械加工の際は、A剤、B剤、C剤の安全データシートの注意事項を参照してください。

セクション 3: 組成、成分情報

3.2. 混合物

危険成分 ¹	重量%	CAS番号	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	GHS分類	特定の濃度制限、 Mファクター、ATE
1,2-エタンジアミン、N-(2-アミノエチル)-、 ビスフェノールAジグリシジルエーテルの反応によるホモポリマー	40-60	68411-71-2	入手不可	急性毒性 4, H302	ATE (経口): 500 mg/kg
ジエチレントリアミン*	15-25	111-40-0	2-159	急性毒性 2, H330 急性毒性 4, H312/H302 皮膚腐食性 1B, H314 眼に対する重篤な損傷 性 1, H318 皮膚感作性 1, H317 STOT 単回暴露 3, H335	ATE (経口): 1,553 mg/kg ATE (経皮): 1,045 mg/kg ATE (吸入、ミスト): > 0.07 mg/l
その他の成分:					

二酸化チタン**	5-10	13463-67-7	1-558, 5-5225	分類されていません***	ATE (経口): 10,000 mg/kg ATE (経皮): > 10,000 mg/kg ATE (吸入、粉塵): > 6.82 mg/l
酸化鉄	1-5	1309-37-1	1-357	分類されていません***	ATE (経口): > 5,000 mg/kg

H(危険)ステートメントの全文: セクション16を参照。

* 本成分は、スプレーされた場合、あるいはエアゾール/ミストが生成された場合、有毒です。

混合物はエアゾール状で存在することはなく、エアゾールを生成することはありません。

** 空気動力学径10 μm以下の粒子を1%未満含有。

*** 職場での暴露限界のある物質。

分類基準: * 労働安全衛生法

* 毒物および劇物取締法

* GHS, 1272/2008/EC, REACH

セクション 4: 応急処置

4.1. 応急処置情報

吸入: 新鮮な空気のある場所に移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。医師の診断を受けてください。

皮膚への付着: 汚れた衣服を脱ぐ間に、作業場所に水を大量に流してください。医師の診断を受けてください。

目に入った場合: 大量の水で目を最低30分間洗い流してください。医師の診断を受けてください。

呑み込んだ場合: 医師の診断なしで無理に吐かせないでください
意識のない場合口から物を与えないでください。意識がある場合は、水で口をゆすがせ、少量の水を飲ませてください。吐瀉物の吸引を防いでください。被害者の頭を横に向けてください。直ちに医師の診断を受けてください。

応急手当を行う人の保護: 個人に対する危険がある場合や適切な訓練が行われていない場合は、行動を起こさないでください。犠牲者に手当を施している間は製品に触らないでください。蒸気の吸入を避けること。個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション888.2.2参照してください。

4.2. 最も重要な徴候と影響 (急性および遅延)

目、皮膚、粘膜に刺激を与え、炎症、火傷、組織の損傷を招くことがあります。蒸気は目や呼吸器に激しい刺激を与えることがあります。発疹やじんま疹のような皮膚の過敏を起こすことがあります。

4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

本製品はアンモニアに類似しあらゆる細胞組織にたいへん有害です。処置は特になし。症状の手当てをしてください。

セクション 5: 火災時の処置

5.1. 消火剤

適切な消火剤: 二酸化炭素、乾燥薬品、乾燥型砂、粉末石灰、耐アルコール性発泡体

不適切消火剤: データなし

剤:

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

有害な燃焼生成物： 不完全燃焼は一酸化炭素を生成することがあります。アンモニアガス、有毒な酸化窒素ガスを生成することがあります。

その他の危険性： なし

5.3. 消防の際のアドバイス

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自己収容型呼吸器と消火用保護装置一式の着用を勧めてください。

セクション 6： 漏出時の処置**6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順**

その場を退去してください。充分換気してください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

6.2. 環境に対する注意

下水、河川、水路に流さないでください。

6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料

流出分は小さな場所に回収してください。適切な廃棄用容器に回収してください。

6.4. 他のセクションの参照

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

セクション 7： 取扱い及び保管上の注意**7.1. 安全な取扱いのための注意**

直接接​​触を全て避けてください。蒸気の吸入を避けること。取扱い後は手をよく洗ってください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。直ちに汚染した衣服を脱いでください。衣服は再使用する前に洗ってください。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。汚染された皮は靴を含め浄化することはできません。処分してください。使用中に飲食、喫煙をしないでください。発ガン性ニトロソアミンを生成する可能性のある亜硝酸ナトリウムその他のニトロソ化剤で汚染しないでください。除去、ドリル、研削、のこ引き、研磨などを行う際は、粉塵の生成、吸引を避けてください。

7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)

乾燥して涼しく換気の良い場所に保管してください。酸の近くで保管しないでください。

7.3. 具体的な最終用途

予防策は特になし。

セクション 8： 暴露防止及び保護措置**8.1. 管理パラメーター**

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m ³	ppm	mg/m ³
1,2-エタンジアミン、N-(2-アミノエチル)-、 ビスフェノールAジグリシジルエーテルの反応によるホモポリマー	N/A	N/A	N/A	N/A
ジエチレントリアミン	N/A	N/A	1 (皮膚)	4.2
二酸化チタン	(吸引可能)	1	N/A	10
	(総塵)	4		
酸化鉄	(吸引可能)	1	(吸引可能)	5
	(総塵)	4		

生物学的限界値

構成成分に対する生物学的暴露限界はありません。

8.2. 曝露制限**8.2.1. 設備対策**

通気のよい場所でのみ使用してください。十分換気し、濃度を許容限界以下に維持してください。粉塵を生成する恐れのある硬化物に最終的に変更する必要がある場合は、粉塵の除去、低減を行ってください。

8.2.2. 作業員の保護対策

呼吸器系の保護： 通常不必要。許容限界を超える場合は、自己収容型呼吸器 (SCBA)、送気マスク (SAR)、または適切なフィルター付き呼吸用保護具 (APR) を使用してください。(例：欧州規格フィルタータイプ A-P2)。

手袋： 耐薬品性手袋 (例：天然ゴム、ニトリルゴム、ネオプレン、あるいはPVC (ポリ塩化ビニル))

ジエチレントリアミン:

皮膚付着タイプ	手袋の材質	手袋の層厚	破過時間*
全面	ネオプレン	0.65 mm	> 480 分
しぶき	天然ゴム	0.6 mm	> 60 分

*EN374基準により決定。

目 / 顔の保護： 安全ゴーグル。

その他： 皮膚への付着を防ぐために必要な不浸透性の衣服。

8.2.3. 環境暴露措置

セクション6と12を参照。

セクション 9： 物理的及び化学的性質**9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報**

形状	ペースト	pH	適応せず
色	ピンク	動粘	48,000 cSt @ 25° C
臭気	強いアンモニア臭	水溶性	ごくわずか
においの閾値	未定	分配係数：n-オクタノール/水 (Log Pow)	適応せず
沸点、初留点及び沸騰範囲	未定	20°Cでの蒸気圧	未定
融点・凝固点	未定	相対密度	1.25 kg/l
揮発率%(容量比)	なし	蒸気密度 (空気=1)	> 1
引火性	適応せず	蒸発率 (エーテル=1)	< 1
高/低引火性あるいは高/低爆発限界	未定	重量比芳香物含有率 (%)	0%
引火点	> 200° C	爆発性	未定
方法	PM閉カップ	酸化性	未定
自己発火温度	未定	粒子特性	適応せず
分解温度	未定		

9.2. その他の情報

なし

セクション 10： 安定性及び反応性**10.1. 反応性**

セクション10.3と10.5を参照。

10.2. 化学的安定性

安定

10.3. 危険な反応の可能性

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

10.4. 避けるべき条件

炎や高熱表面。

10.5. 配合禁忌薬品

酸、液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

10.6. 危険な分解物一酸化炭素、二酸化炭素、NO_x、アンモニア、アミン、その他の有毒煙。**セクション 11： 有害性情報****11.1. 毒性影響に関する情報**

通常使用時の主な接触経路： 吸引、皮膚や目への付着。

急性毒性 -

経口： 飲み込むと有害。ATE-混合物: 680 mg/kg. 摂取すると口やのどに激しい火傷を起こし、食道や胃壁に穴が開くことがあります。

物質	テスト	結果
1,2-エタンジアミン、N-(2-アミノエチル)-、ビスフェノールAジグリシジルエーテルの反応によるホモポリマー	致死量50(LD50)、ラット	200 (致死濃度0(LC0)) -500 (致死濃度100(LC100)) mg/kg
ジエチレントリアミン	致死量50(LD50)、ラット	1,553 mg/kg
二酸化チタン	致死量50(LD50)、ラット	> 10,000 mg/kg

経皮： ATE-混合物: 4,939 mg/kg.

物質	テスト	結果
ジエチレントリアミン	致死量50(LD50)、うさぎ	1,045 mg/kg
二酸化チタン	致死量50(LD50)、うさぎ	> 10,000 mg/kg

吸入： 蒸気は目や呼吸器に激しい刺激を与えることがあります。

物質	テスト	結果
ジエチレントリアミン	致死濃度50(LC50)、ラット、4時間	蒸気飽和レベルでの死亡なし
二酸化チタン	致死濃度50(LC50)、ラット、4時間	> 6.82 mg/l (粉塵)

皮膚腐食性/刺激性： 火傷します。

物質	テスト	結果
ジエチレントリアミン	皮膚の炎症、うさぎ	腐食性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 重篤な眼の損傷。

物質	テスト	結果
ジエチレントリアミン	目の炎症	腐食性

呼吸器または皮膚の感作： アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

物質	テスト	結果
ジエチレントリアミン	皮膚の感作、モルモット	過敏性

胚細胞突然変異原性： ジエチレントリアミン: 本物質は細菌分析や培養哺乳類細胞分析で非変異原性がありました。

がん原性： 国際がん研究機関(IARC)は吸引された二酸化チタンを発ガン性の疑いのある物質に指定しています(グループ2B)。本製品内の二酸化チタンは混合物から分離したり空気中で運ばれたりしないので、通常の使用では危険はありません。

生殖毒性： ジエチレントリアミン: 有害を起こさないとされています。; 授乳に対するまたは授乳を介した影響: データなし。

STOT - 単回暴露： 呼吸器への刺激のおそれ。

STOT - 反復暴露： ジエチレントリアミン: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

吸引性呼吸器有害性： 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

11.2. その他の情報

なし

セクション 12: 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

12.1. 毒性

水生生物の多くは未反応硬化剤のような腐食性物質に耐性がありません。

12.2. 持続性・分解性

ジエチレントリアミン:

生分解しにくいと考えられています。未反応成分(A剤とB剤)が誤って環境に放出されると土地や水の汚染の原因となることがあります。

12.3. 生物蓄積の可能性

ジエチレントリアミン: 水生生物内の生物濃縮度は低いと考えられています。(log Kow: -2.13).

12.4. 土壌中の移動性

ペースト。水溶性:

ごくわずか。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。ジエチレントリアミン: 土壌内の移動性が極めて高いとされています。

12.5. PBT・vPvB評価の結果

入手不可

12.6. 内分泌かく乱特性

既知の影響なし

12.7. その他の悪影響

既知の影響なし

セクション 13: 廃棄上の注意		
13.1. 廃棄処理方法		
樹脂と硬化剤を混合してください。硬化物質は最終的に無害とされています。安定化、固化された液体を密閉容器に入れ、正式に認可された設備で埋立処で処理してください。適切な設備で焼却することができます。反応を起こしていない成分は特殊廃棄物です。(EC理事会指令2008/98/ECで危険廃棄物に指定)。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。		
セクション 14: 輸送上の注意		
14.1. UN番号		
ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO:	UN2735	
14.2. UN固有輸送名		
ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO:	AMINES, LIQUID, CORROSIVE, N.O.S. (CONTAINS 2,2'-IMINODIETHYLAMINE)	
14.3. 輸送危険性分類		
ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO:	8	
14.4. 梱包グループ		
ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO:	II	
14.5. 環境への危険性		
NO		
14.6. ユーザーへの特別な注意		
使用に関する特別な注意はなし		
14.7. Marpol 73/78附則IIIによる貨物輸送およびIBCコード		
適応せず		
14.8. その他の情報		
IMDG:	EMS F-A, S-B, IMDG (国際海上危険物規則)の分別グループ 18-ALKALIS	
ADR:	分類コード C7, トンネル制限コード (E)	
セクション 15: 適用法令		
15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規		
日本PRTR	クラスI薬品: ジエチレントリアミン	クラスII薬品: なし
その他の国内規制:	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法) 旧第二種監視化学物質: ジエチレントリアミン 毒物及び劇物取締法 劇物: ジエチレントリアミン 水質汚濁防止法 指定物質: 酸化鉄	

セクション 16: その他の情報

略語一覧： ACGIH: 米国産業衛生専門家会議
 ADN: 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ATE: 急性毒性推定値
 BCF: 生物濃縮係数
 cATpE: 変換後の急性毒性推定値
 CLP: 分類、ラベル、包装に関する法規(1272/2008/EC)
 GHS: 世界調和システム
 ICAO: 国際民間航空機関
 IMDG: 国際海上危険物規定
 LC50: 試験動物の50%を死亡させる致死濃度
 LD50: 試験動物の50%を死亡させる投与量
 LOEL: 最小作用量
 NOEC: 最大無作用濃度
 NOEL: 最大無作用量
 N/A: 該当せず
 PBT: 難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する物質
 PEL: 許容暴露限度
 REACH: 化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制(1907/2006/EC)
 RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規定
 SDS: 安全性データシート
 STEL: 短時間暴露許容濃度
 STOT: 特定標的臓器毒性
 TLV: 暴露限界
 vPvB: 極めて難分解性で高い生物蓄積性を有する物質
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

主な参考文献およびデータ出典： 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (通称 ナイト、NITE)
 欧州化学物質庁 (ECHA) - 化学物質に関する情報
 スウェーデン化学物質庁 (KEMI)
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク (TOXNET)
 化学分類および情報データベース (CCID)

GHSによる混合物の分類方法:

分類	分類手順
急性毒性 4, H302	算出方法
皮膚腐食性 1B, H314	算出方法
眼に対する重篤な損傷性 1, H318	算出方法
皮膚感作性 1, H317	算出方法
STOT 単回暴露 3, H335	架橋原理「希釈」

関連するH(危険)-ステートメント： H302: 飲み込むと有害。
 H312: 皮膚に接触すると有害。
 H314: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。
 H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
 H318: 重篤な眼の損傷。
 H330: 吸入すると生命に危険。
 H335: 呼吸器への刺激のおそれ。

その他の情報： なし

本改訂によるSDSの変更： セクション 3.2.

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。